

発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 安藤 武典  
 編集人 中平等 新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◇2月14～15日 岳連親睦スキー大会・雪山ハイク(イトシロ) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



薩埵峠より富士山

PHOTO 中平等新一

春頌

新年を迎えて

今年も岳連活性化にご協力を!

会長 安藤 武典

明けましておめでとございます。  
 昨年、御嶽山の噴火という災害があり、尊い多くの命が山で失われました。改めてご冥福をお祈りいたします。

近年登山人口は増加傾向にあると言われております。皆さんも山でそれを感じられていることと思います。わが岳連会員の愛知県高等学校体育連盟の行事にも多くの高校生が参加してくれております。

岳連の外で山を楽しんでいる人たちが若いうちを少しだけでも岳連の仲間として受け入れていくことができれば、岳連として大変ありがたいことだと思います。今年はそのために岳連が何をすべきかをスタッフと一緒に考えていきたいと思っております。

昨年、鈴鹿の登山口でアンケートを実施しました。山に入るための基本的な心構えや知識を持たずに山に入っておられる方がまだまだ多いようです。我々がすべきことのひとつとして、登山のための基本事項の啓発を岳連内はもとより、外に対しても発信をしていかなくはならない時代で

あると考えます。それには基礎的なことから専門的なことまで対応できる(する)岳連になっていかなくてはなりません。そしてそれを単発の行事や担当者へのみの考えでなく、システムチックに組織として発信しなければなりません。ぜひ、あなたの知恵や力をお貸しください。

最近ではプライベートという言葉を鎧にして、人とのコミユニケーションが軽薄になる世相があるようで、ソロテントなどをよく見かけるようになりました。個人主義の台頭、私はそれを否定しませんが、人は友人・仲間といると心地よさを感じるものだと思います。岳連は登山という共通の想いを持った人たちが、人の輪を広げるための組織でもありたいと思っております。一緒に動けば手がつながり、心がつながると思っております。皆さんの力で岳連を盛り上げていただけませんか。ご協力をよろしくお願いたします。  
 2015年が皆さんにとって有意義な年になることをお祈りいたします。

県民登山教室 ② 朝明溪谷周辺

地図から実際の景色をイメージ!

副理事長・指導担当 岩瀬 幹生

愛知県民登山教室2014 実践教室②を26年10月4日(土) 鈴鹿山系・朝明溪谷周辺において開催しました。

今回は、地図の読み方をメインに講習を行いました。朝明溪谷駐車場で開会式を行なった後、プレートコンパスの基本であるコンパス1・2・3について勉強しました。その後、参加者11人(男性5人女性6人)はスタッフ9人と共に地図の読み方を学びながら山歩きを始めました。

最初は整置からはじまり、橋・道の分岐・尾根・沢などの確認、傾斜の変化など……しだいに地図に書かれている情報と、実際の景色がおり重なって頭の中でイメージできるようになっていきます。根の平峠で小休止したあと急登を喘ぎあえぎ登り切った平坦地を少し行くと、ブナ清水への分岐に到着しました。当初は、これより国見岳を往復する予定でしたが、天候悪化が予想されたため、予定を変更してブナ清水へ下ることになりました。

鈴鹿の桃源郷「ブナ清水」では、ふるまわれたトン汁と持参したお弁当でお腹を満した後、ツエルを使った緊急時の休み方、ビバーク方法などを学び、記念写真を撮って下山を開始しました。

帰路では、この講習会で学んだことをおさらいしながら朝明溪谷駐車場に戻り、閉会式を行なって解散しました。

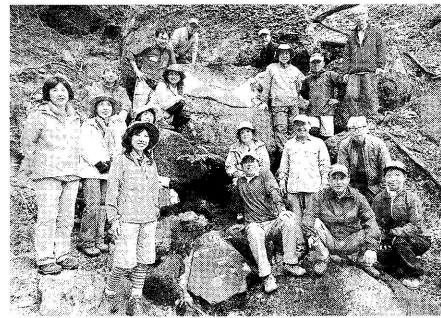
登山教室に参加して

やまびこ山想会

服部 明

朝明溪谷駐車場を起点とした読図・コンパスの使い方の講習会に参加しました。

コンパス1・2・3の使い方の説明を受けてから山道に入り、整置の仕方、橋、道の方角、合流点、沢、尾根、等高線の密度と傾斜の変化、そして目的地への分岐点の予測など複数の情報を考え、地形図の情報と実際の地形と照らし合せて現在地の確認することが大事と教えていただきました。



根の平峠を經由で国見岳に続く稜線からブナ清水へ、暖かいトン汁をいただき冷えた体に最高のごちそうでした。そしてツエルはビバーク用だけではなく、休憩時にも利用できるという説明がありました。

登山の遭難原因のワースト1は道迷い。迷ってから使うのではなく、迷わないための読図。今回の地図の講習会は初めてではありませんが、読図は難しいと思います。読図力を高めるため、普段登っている山でも地図とコンパスを使って慣れることが大事だと思います。

一般参加 森田 博之

10月4日の登山教室(鈴鹿山系・朝明溪谷)に、初めて参加しました。

私は、登山歴は結構長いのですが、今までは自己流で、マイペースの登山を楽しんでいました。ところが今年の夏、初めて山岳会委員の人と北ア・西穂に登って、計画・装備などの安全対策に大きな違いがある事に気がつきました。私も、もう少し基礎的な事を知ろうと思ったのが、参加のきっかけです。今回のテーマは読図でしたが、いままで5万分の1の地図は活用していませんが、2万5千分の1の地図やコンパスの利用は皆無で、恥ずかしながら今回初めて正式な使用方法を知りました。山岳事故の1位が「道迷い」だそうですが、常に自分の位置の確認をする習慣が事故防止に繋がる事を学びました。おりしも御嶽山の事故があり、登山に対する安全対策の見直しが問われています。私もこれを機会に、体力維持だけでなく山の幅広い知識を習得して安全登山を心掛けたいと思います。最後に、今回のコースなかなか良かったです。国見岳の頂上に行けなかったのは少し残念でしたが、ブナ清水に香りが漂っていたトン汁も大変美味しかったです。元気ができました。

講師の皆さん、有意義な一日をありがとうございました。

名古屋駅前の山用品専門店 駅前アルルス 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-10 名古屋クロスコートタワー 1F TEL 052-565-1417

安心して選べる三河地区のプロショップ JR刈谷駅前 穂高 〒448 刈谷市桜町1-13 TEL0566(23)8611 定休日/火曜日 営業時間/10:00~20:00

高体連秋期登山講習会

参加17校 143人が参加する

常任理事

関谷雅樹

今年度の高体連加盟校対象の競技力育成秋期登山講習会が、10月25日～26日の日程で実施された。本行事は名古屋山岳連盟が主催、愛知県山岳連盟が共催という形で実施している。

今年度の講習会は天候もまずまず恵まれ、参加者は生徒143人、引率顧問及び講師33人の176人という、講習会が始まって以来最大の参加者となる中で実施の運びとなった。

講習会一日目は、講習Ⅰとして気象・天気図(中級)、天気図(初心者)、読図基礎(机上講習)、読図実地(踏査)、植生の5講座を開講、続く講習Ⅱとして天気図(初心者)、読図基礎、読図実地、植生、審査準備の5講座を開講した。

講習Ⅱの終了後は各自で炊事を行い、夜は交流会を開催。各校の工夫を凝らした出し物が相次ぎ、楽しいひとときを過ごすことができた。

2日目は新人大会縦走コ

スを各校で歩き、全校が無事宿泊地に戻り、全日程を終了することができた。

今回の講習会では、今まで高体連の行事にも参加してこなかった学校が2校参加してくれた。その学校の顧問の先生からは、『生徒がとても楽しかった。また来年も参加したい、と言っています。どうもありがとうございます。』とお手紙をいただき、参加者に満足してもらえら講習会になったと考えている。

なお、この行事は、高体連の新人体育大会の競技力育成を主目的としているが、全国・東海大会同様、参加生徒同士の交流も重視している。ひいては、高体連及び山岳連盟の行事への参加を促すという効果もあるが、高体連加盟各校の理解と多くの参加校を得ようと思うと、各校顧問への旅費の補助が必須である。これを受けて、愛知県山岳連盟も共催団体として講師の派遣費を援

愛知岳連救助技術講習会

アンカー構築や介助懸垂など

助している。この点、会員の方々にも是非ご理解・ご協力があつてできる行事である。講習会の継続のため、引き続きご理解ご協力をお願いしたい。

また、最後ではあるが本行事の実施に当たり、多大なる協力をいただいた朝明茶屋さんに、この場を借りて深くお礼申し上げます。

10月25・26日に、

鞍ヶ池公園で縦走コース、岩場でのロープレスキューコースに分かれて救助技術講習会を開催しました。

縦走コースでは、25日は南山壁西側の低山で読図講習を行い、藪山の中で地図・コンパスを使って現在地確認・進行方向の予測などを学び、GPSの効果についても確認しました。26日の午前中は鞍ヶ池公園の散策道で救助者を搬送する方法について練習をしました。

ロープレスキューコースでは、25日はアンカー構築、介助懸垂、デイスタンスコントロールの方法の理解と実践訓練を行いました。26日午前中は引上げシステムの方法の理解・練習を行いました。26日午後は全員で役割分担をし、一連の流れでチームレスキューの実践訓練を行いました。その後ティーピングの講習をし、概ね天気に恵まれ事故もなく終了出来ました。(高木 宏)

講習会に参加して

大山山岳会

畑下 美保

今回は《介助懸垂》で、レベルの高い内容を勉強する事が出来ました。

10月の晴天、山日和で若干、受講者が少なく指導員の方にミッチリご教授頂く事が出来ました。言うは易しですが、時間を作り復習を繰り返したいぞ!という時に救助できるようにスキルアップしたいと思えます。

講習を受けた内容全てを吸収するには、更にトレーニングが必要と感じましたが、より高い技能レベルに触れることで、自身の技能の応用範囲を広げる事が出来るように感じました。

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員
ALPINE ツアーズ
海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます
名古屋営業所 TEL: 052-581-3211
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階
FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com
ホームページ http://www.alpine-tour.com

公官庁の許認可申請・権利義務・事実証明の書類作成
西山行政書士事務所
〒460-0002
名古屋市中区丸の内三丁目21番21号
丸の内東桜ビル1004号
TEL: 052-961-6506 FAX: 052-961-6507
URL: http://www.nygs-office.com/
facebook: http://www.facebook.com/nygs.office

# ピアクシー峰(6090m)初登頂

## JAC東海支部第12次インドヒマラヤ登山隊2014

### 登山隊長 星 一 男

東海支部第12次インドヒマラヤ登山隊2014は、6090m無名峰に平成26年7月4日午前8時30分に全員登頂を果し、ピアクシー峰と命名した。1988年の第1次・ヤン峰以来16座目の登頂となる。今回は、第10次アッチェ峰(2009年)、第11次チエマ峰・全真登頂(2011年)と同じラホール地区カルチャ・ナラ流域のD氷河源頭の未踏峰を目指す、3度目の遠征である。

今回の遠征目的は、

- ①遠征隊を継続して出すこと
- ②隊員の若返りを図ること
- ③探検的登山を行うこと
- ④特にカルチャ・ナラ源流域からD氷河の略奪点を越えて、バラシグリ氷河域に入り、踏査する。

以上が主たる狙いである。

また、初期のころから、ハイポーターとして数々の登頂に協力してくれたが、昨年落石により不慮の死を遂げた故フアテ・チャン氏宅の弔問も予定した。

マナリで登山準備中に、在

インド日本大使館より電話連絡が入った。「デリーに戻ったら日本大使館にお話を聞きたいので、ぜひ来ていただきたい」とのことであった。「登頂成功」の報告を是が非でも出来るようにと気合が入る。

#### ▲隊の構成

隊長・星 一男(63)  
 登攀隊長・鈴木美代(62)  
 隊員・土屋昌代(38)  
 登山本部・アドバイザー・鈴木常夫

#### ▲行動記録

- 6/15 日本出発
- 6/17 IMFにて登山手続き L/O面会、在インド日本国大使館へ挨拶
- 6/19 6/21 マナリで登山準備、故フアテ・チャン・タクル宅弔問
- 6/23 マナリ→ロータン・パス→チャトルヘジープで移動の途中で道路未開通の為、馬に変更してキャラバン開始
- 6/25 バタル(3990m)着
- 6/27 カルチャ・ナラから

BC(4300m) 設営  
 7/1 D氷河にC1(4800m) 設営

7/2 3 D氷河にC2(5200m) 設営

7/4 6090m無名峰に全員初登頂

Pyagski Peak (ピアクシー峰) と命名

7/9 バタル帰着

7/10 マナリ帰着

7/14 デリー帰着

7/15 午前 IMF訪問。リエゾンオフィサー、隊員とともに登頂報告しピアクシー峰と正式に命名決まる。

夕方 在インド日本国大使館を訪問。八木大使からのご招待で夕食会に出席する。

7/18 日本帰着



#### ▲登頂記 鈴木美代

7月4日 2時起床3時出発。出発から2時間、取り付き

手前で休憩。取り付きは尾根末端のサイドの雪壁である。

ガイド役のネギ氏とハイポーター13名でルート工作してゆく。上部の少し傾斜が立つあたりではザイルをフィックス

に使い、5Pほどで稜線。最後の1Pは雪が減り、ちよつとしたガレ場になる。落石を

起こしそうで下から人が来るときは神経を使う。その先は

なだらかな尾根となり、ノーズイルで少し進む。全体にと

くに困難なところは無いが、昨日の偵察では稜線左側に雪

庇が出ていたので要注意。出発から5時間、頂上の望

まずまずだがセントラルピクは頂上を雲に隠していた。

荷物をデポし、ここからはコンテで頂上に9時。全員で

写真を撮り、ヤシの実で乾杯した。上空一部雲はあるもの

の天気は上々で、周りの山々もよく見え、星隊長は偵察目

的も果たせたとご満悦であった。

取り付きからC2に戻る。

山名ピアクシーは、隠れた

という意味。なかなか登る山

が見えてこなかったことによる。

今回の最大の難所は、山の

確定であった。ピアクシーにはもう一つ、恥ずかしがりの

女性という意味もあるらしい。

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎0532-26-3737

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地



モンタニア

住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

うなぎ錦三丁目 い ば しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号

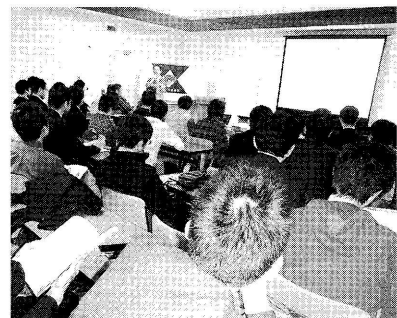
TEL <052> 951-1166 番

営業時間 午前 11:00~午後 2:30

午後 4:00~午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日





**第18回「遭難を考える」講演会開催**

11月28日(金)県スポーツ会館に於いて、望月将悟氏を迎えて「遭難を考える」講演会(未知への挑戦)を開催しました。望月氏は静岡市消防局・山岳救助隊員であり、日本一過酷な山岳レース「トランスジャパンアルプスレース」3連覇を成し遂げており、以下のテーマについてお話しをしていただきました。

1. 山が僕に何を教えてくれたものか
2. 井川の生活と環境など
3. トランスジャパンアルプスレースへの挑戦
4. 安全登山をするために、山岳救助最前線からの声

参加者146名は、時の経つのも忘れて聴講しました。(岩瀬幹生)

### 平成26年度 冬山入山状況

H26.12.18現在

#### ▲穂高方面

| (No.) | (所属団体名)    | (登山期間)        | (登山ルート)     | (リーダー) | (人数) |
|-------|------------|---------------|-------------|--------|------|
| 1     | 千種アルパインクラブ | 12/31 ~ 1/ 1  | 新穂高西穂山丸山新穂高 | 山本ひな子  | 5名   |
| 2     | 名古屋山岳会     | 12/28 ~ 1/ 3  | 新穂高西穂山丸山新穂高 | 中木悠樹   | 3名   |
| 3     | チーム猫屋敷     | 12/26 ~ 12/31 | 新穂高西穂山丸山新穂高 | 野崎我雅   | 4名   |
| 4     | J A C 東海支部 | 12/27 ~ 12/31 | 新穂高西穂山丸山新穂高 | 野崎我雅   | 4名   |
| 5     | 千種アルパインクラブ | 12/27 ~ 12/28 | 新穂高西穂山丸山新穂高 | 野崎我雅   | 6名   |
| 6     | 〃          |               | 新穂高西穂山丸山新穂高 | 野崎我雅   | 1名   |
| 7     | 〃          |               | 新穂高西穂山丸山新穂高 | 野崎我雅   | 1名   |
| 8     | 豊川山岳会      | 12/27 ~ 12/29 | 新穂高西穂山丸山新穂高 | 野崎我雅   | 10名  |

#### ▲後立山方面

|   |            |               |                     |      |    |
|---|------------|---------------|---------------------|------|----|
| 1 | 岡崎山岳会      | 12/30 ~ 1/ 1  | 中房温泉 ~ 燕岳 or 大天井    | 内富康博 | 6名 |
| 2 | 豊橋山岳会      | 12/30 ~ 1/ 4  | 天狗尾根 ~ 北壁主稜 ~ 鹿島槍北峰 | 稲吉内船 | 2名 |
| 3 | 岡崎山岳会      | 12/26 ~ 12/27 | 遠見尾根 ~ 五竜岳          | 内船田  | 2名 |
| 4 | 中央アルパインクラブ | 12/28 ~ 12/30 | 遠見尾根 ~ 唐松岳          | 内船田  | 4名 |
| 5 | J A C 東海支部 | 12/28 ~ 12/30 | 中房温泉 ~ 燕岳 ~ 中房温泉    | 内船田  | 5名 |

#### ▲八ヶ岳方面

|   |               |               |                                  |      |     |
|---|---------------|---------------|----------------------------------|------|-----|
| 1 | イノアックコーポレーション | 12/31 ~ 1/ 1  | 黒百合平 ~ 東天狗岳 ~ 西天狗岳               | 大竹利之 | 4名  |
| 2 | 〃             | 1/ 3          | 乙女峠 ~ 金時山                        | 大竹利之 | 10名 |
| 3 | 豊川山岳会         | 12/28 ~ 12/30 | 旭岳東稜 ~ 行所小屋 ~ 阿弥陀北稜 ~ 真教寺尾根      | 大森重泰 | 2名  |
| 4 | チーム猫屋敷        | 12/27 ~ 12/29 | 洪の湯 ~ 硫黄岳 ~ 洪の湯                  | 大森重泰 | 7名  |
| 5 | 千種アルパインクラブ    | 12/27 ~ 12/28 | 美濃戸 ~ 赤岳鉾泉 ~ 赤岳 ~ 美濃戸            | 大森重泰 | 2名  |
| 6 | 〃             | 12/27 ~ 12/28 | 美濃戸 ~ 赤岳鉾泉 ~ 硫黄岳 ~ 赤岳鉾泉 ~ 美濃戸    | 大森重泰 | 4名  |
| 7 | アイシン精機山岳部     | 12/26 ~ 12/28 | ジョウゴ沢 ~ 硫黄岳 ~ 赤岳鉾泉 ~ 峰の松目沢 ~ 阿弥陀 | 大森重泰 | 6名  |
| 8 | G・S・A         | 12/29 ~ 1/ 3  | 行者小屋 ~ 石尊稜 ~ 阿弥陀岳北西稜 ~ 行者小屋      | 大森重泰 | 5名  |
| 9 | やまびこ山想会       | 1/ 3 ~ 1/ 4   | 美濃戸口 ~ 行者小屋 ~ 赤岳                 | 大森重泰 | 3名  |

#### ▲中央アルプス方面

|   |            |               |                             |      |     |
|---|------------|---------------|-----------------------------|------|-----|
| 1 | 名古屋山岳会     | 12/28 ~ 12/30 | 菅の台 ~ 北御登山口 ~ 宝剣岳 ~ 木曾駒ヶ岳往復 | 小川義夫 | 4名  |
| 2 | 岡崎山岳会      | 12/27 ~ 12/28 | 菅の台 ~ 千丈敷駅 ~ 木曾駒ヶ岳 往復       | 小川義夫 | 2名  |
| 3 | 豊橋山岳会      | 12/27 ~ 12/31 | 大平峠 ~ 安平路 ~ 摺古木 ~ 黒川林道      | 小川義夫 | 5名  |
| 4 | 〃          | 12/26 ~ 12/30 | 池山尾根 ~ 空木岳 ~ 宝剣岳            | 小川義夫 | 2名  |
| 5 | 千種アルパインクラブ | 12/29 ~ 12/31 | 小野川昌股沢 ~ 麦草岳 ~ 奇美世の滝登山道     | 小川義夫 | 2名  |
| 6 | デンソー電友山岳部  | 12/27 ~ 12/31 | 上松尾根 ~ 木曾駒ヶ岳 ~ 宝剣岳          | 小川義夫 | 12名 |

#### ▲南アルプス方面

|    |             |               |                          |      |    |
|----|-------------|---------------|--------------------------|------|----|
| 1  | 春日井山岳会      | 12/27 ~ 12/30 | 仙丈ヶ岳 ~ 北沢峠 ~ 甲斐駒ヶ岳 ~ 黒戸山 | 坂口公美 | 2名 |
| 2  | 〃           | 12/27 ~ 12/29 | 市野瀬 ~ 仙丈ヶ岳 ~ 市野瀬         | 坂口公美 | 7名 |
| 3  | 名古屋山岳会      | 12/31 ~ 1/ 4  | 奈良田 ~ 農鳥岳 ~ 北岳 ~ 奈良田     | 丹羽村  | 4名 |
| 4  | M M C 岡崎山岳部 | 12/26 ~ 12/29 | 戸台 ~ 北沢峠 ~ 甲斐駒ヶ岳 往復      | 丹羽村  | 8名 |
| 5  | トヨタ自動車山岳部   | 12/26 ~ 12/30 | 三伏峠 ~ 塩見岳西峰 ~ 東峰 ~ 三伏峠   | 丹羽村  | 2名 |
| 6  | 豊田山岳会       | 12/27 ~ 12/30 | 鳳山                       | 丹羽村  | 5名 |
| 7  | 蒲郡山の会       | 12/28 ~ 12/31 | 戸台 ~ 北沢峠BC ~ 甲斐駒ヶ岳 ~ 仙丈岳 | 丹羽村  | 2名 |
| 8  | 岡崎山岳会       | 12/27 ~ 1/ 1  | 五丈ヶ滝 ~ 甲斐駒ヶ岳 ~ 七丈ヶ滝尾根    | 丹羽村  | 4名 |
| 9  | 愛知山岳会       | 12/27 ~ 1/ 1  | 鳥倉林道 ~ 三伏峠 ~ 塩見岳 往復      | 丹羽村  | 3名 |
| 10 | 千種アルパインクラブ  | 12/28 ~ 12/31 | 大岩下ノ岩小屋 ~ 甲斐駒ヶ岳 ~ 北沢峠    | 丹羽村  | 2名 |
| 11 | 〃           | 12/27 ~ 12/31 | 奈良田 ~ 北岳 バットレス ~ 北岳      | 丹羽村  | 2名 |

#### ▲その他方面

|   |            |               |                                |      |     |
|---|------------|---------------|--------------------------------|------|-----|
| 1 | 岡崎山岳会      | 12/27 ~ 1/ 3  | 立山駅 ~ 室堂 ~ 雄山 ~ 大汝峰 ~ 室堂 ~ 立山駅 | 永田昌美 | 4名  |
| 2 | 豊田山岳会      | 12/27 ~ 12/29 | 韓国 雪獄山 アイスクライミング               | 永田昌美 | 5名  |
| 3 | J A C 東海支部 | 12/29 ~ 12/30 | 醒ヶ井駅 ~ 霊仙山 ~ 柏原駅               | 永田昌美 | 3名  |
| 4 | 名古屋山岳会     | 12/28         | 大日ヶ岳 (高鷲スノーパーク)                | 永田昌美 | 6名  |
| 5 | やまびこ山想会    | 1/10 ~ 1/12   | 八ヶ岳 ~ 柳添尾根 ~ 横岳 (三叉峰)          | 永田昌美 | 11名 |

中高年安全登山指導者講習会(東部地区)

講義と実習に楽しく学ぶ!

やまびこ山想会

浅井 光江

平成26年度中高年安全登山指導者講習会が、9月26日から28日迄、青森県弘前市「岩木青少年スポーツセンター」で開催されました。

愛知県から、やまびこ山想会から2人、豊田山岳会から1人の3人が出席しました。今年のテーマは「山岳ファーストエイドの知識と実習」です。

初日は、①北村憲彦先生の「中高年登山の現状と課題」続いて②国際山岳医・大城和恵先生の「登山時のファーストエイドの知識と実習」を繰り返して受講しました。

最後は③阿部東先生の「岩木山周辺の動植物について」二度の氷河期を生き抜いてきた植物(ミチノクコザクラ)また動物たち。テンが生息しているの聞き驚きました。

2日目、岩木山に百沢のスキー場から入山し「登山時のファーストエイドの実際」を



指導にあたる大城和恵氏

錫杖清水と下山途中の八合目駐車場の2ヶ所を実施。実習を5班8人ずつのグループ毎に、25分程度づつ行ないました。また、参加者全員が登頂しました。3日目は、午前の研究協議ではグループ討議と質疑応答がなされました。そして閉講式のあと解散となりました。延べ3日間に及ぶ講習会では、繰り返しファーストエイドの重要性を学びました。熱心な指導により、粘土頭にも吸収の自信が生まれました。山では不可抗力な事故が発生します。(この日、御嶽山が噴火しました)その中で生死を分けるのは、知識と行動

力と運命だと思えます。尚、次回は東京都の高尾山で開催予定です。

常任理事会

12月2日(火) OMCビル

(出席者) 安藤会長、中平等、伊藤、高橋副会長、北村理事、岩瀬副理事長、杉本(三)、丹羽、高木、梶山、星、吉村、関谷各常任理事

I 報告事項

- 1. 愛知県遭難対策協議会 (11/5 県庁) 安藤
2. 高体連新人大会 (11/8 9 釈迦ヶ岳) 男女30チーム120人参加
3. 第35回自然観察会 (11/8 鈴鹿) 杉本
4. 自然保護委員会 (11/11 県スポ) 杉本
5. 日山協自然保護委員会 (11/22 広島) 杉本
6. 第18回「遭難を考える」講習会 (11/28 県スポ)
II 審議・お知らせ事項
1. 第2回Jrクライミング記録会 (12/13 キューブ)
2. 冬山遭難対策会議、冬山気象情報 (12/18 県スポ)
3. 第3回高校生クライミング選手権 (12/23 24 埼玉)
4. 指導員集会 (1/13 東三、1/20 県スポ) 高木
5. 高体連第2回登山部委員会 (1/20)

編集後記



平成26年は、自然災害の多い年だった。特に御嶽山の噴火は多数の被害者を出し、白馬村や白山の地震なども憂慮する事態で、登山界に多くの教訓を与えた。登山ブームと共に登山者も増加傾向、だが登山口のアンケートでは認識の甘さが在り在り。山に登るなら基礎的な知識を習得してほしいもの。昨年も皆さんのご協力により「愛知岳連ニュース」を刊行することができました。今年も情報紙として頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひ致します。(N)

Table with 2 columns: Date (月日) and Content (内容). It lists events from February 3rd to April 18th, including council meetings, climbing records, and safety seminars.

Advertisement for Renopoint Original Wear & Goods. Includes website URL (http://www.renopoint.jp), contact information, and a list of products like outdoor gear and bags.